

選定基準別提案内容と事業実績の確認

施設名	山北つぶらの公園
指定管理者名	公益財団法人 神奈川公園協会
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課（県西土木事務所）

選定基準大項目	評価項目				審査（評価）の視点（C）	提案内容（D）	指定期間 令和4年度の事業実績（E）	所管課による課題分析等（F）	事業実績の確認方法（G）			
	選定基準中項目（A）	小項目（B）	配点	選定時の評価点					実績報告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(1)	指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等	基本姿勢及び管理運営方針	5	5	指定管理業務全般を通じた団体等の総合的な運営方針、考え方	○団体等の総合的な運営方針として「より良い公園運営のための強い使命感と不断の努力」「社会問題への積極的な対応」「地域との関係づくりの強化～地域活性化への貢献」に取組む。	○提案した総合的な運営方針に基づき、取組を実施した。 ○地域との関係づくり強化のため、西丹沢ビジターセンター等と連携したイベントを開催した。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、地域との関係づくり強化の取組の実施を期待したい。	○		
						公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針	○公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針として「より多くの人々が集う天空のアクティビティパーク」の下、「雄大な眺望を望む安全・快適な利用環境づくり」「若い世代も参加した地域活動・交流の拠点づくり」「健康増進を通じた多目的利用の場づくり」「地域の情報発信視点としての機能確保」に取組む。	○望遠鏡を設置した。 ○森林セラピーを町と共催で実施した。 ○町の撮影ロケ地に追加した。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、公園固有の特性を活かした取組を実施するとともに、更なる利用者サービスに繋がる取組の実施が望まれる。	○		
						利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針	○利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針として、「利用者に配慮した管理運営」「地域住民に配慮した管理運営」「環境に配慮した管理運営」に取組む。	○提案した管理運営方針に基づき、取組を実施した。 ○アンケート等により利用者のニーズを把握し、県と改善の調整した上で公園運営に反映させる取組を実施した。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、利用者や地域住民、環境等に配慮した公園管理の継続が望まれる。	○		
						業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等（委託先の選定方法、県内（地域）企業への委託の考え方）	○公園の特性を熟知した職員により、できるだけ直営で、きめ細やかな維持管理を行うことを基本とし、法令等に基づく業務、専門技術、資格等を要する業務等は委託することとし、県内企業への発注を優先するとともに、障がい者の就労支援に資する業務についても、できるかぎり支援施設に委託する。	○提案した管理運営方針に基づき、取組を実施した。 ○植物管理や日常清掃等を中心とし、現地を熟知した職員が直営で作業を実施した。また、施設の法令点検や法定清掃、専門技術を要する管理、修繕等の業務については、地元または県内企業に委託して適切に実施した。	○提案書の内容に沿って適切に植物管理が実施されている。引き続き、きめ細やかな維持管理を期待したい。	○		
	(2)	施設の維持管理	都市公園施設及び植物の維持管理業務の実施方針	10	9	公園の特性と課題を踏まえた維持管理の考え方	○公園の特性と課題を踏まえ、「ゾーンごとのポテンシャルを最大限に活かす植物管理」「公園特有の園路や遊具などの施設の安全・安心な利用環境づくり」を行っていく。	○計画のとおり実施した。 ○天狗巣病の被害拡大防止やサクラの樹勢回復を図るため、樹木医による調査を実施した。 ○ナラ枯れ等による危険木の伐採・除去を実施した。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、公園の特性と課題を踏まえた適切な維持管理の継続に努めてもらいたい。	○		
						施設保守点検業務、小破修繕業務等の実施方針	○新しい遊具も整備され、子供たちに人気がある一方、利用頻度の高い遊具や自然散策路にある急こう配の園路や階段など、土砂流出や劣化・破損などの恐れが高い施設を持つ特性があるため、こまめな点検・修繕を行い、施設の長寿命化を図り、常に安全・快適な施設の維持に努める。 ○重点的な取組みとして、多様な遊具ごとの安全対策として、月1回、職位による使用点検や遊具事に定めた点検項目によるチェックなどの詳細な点検を行い、安全管理を徹底する。	○多様な遊具における日々の点検、定期点検を実施した。 ○長寿命化の一環で四阿やベンチ等の塗装を実施し、安全で快適な施設の維持に努めた。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、日々の点検を適切に実施し、安全な公園管理に努めてもらいたい。	○		
						清掃業務、受付業務、警備業務等の実施方針	○「快適な利用を支える施設の特性に応じた高品質な清掃」に取組む。 ○「公園や地域のインフォメーションとしての受付」に取組む。 ○「安全・安心・快適に利用していただくための警備」に取組む。	○遊具周辺や自然散策路等の落葉清掃を頻繁に実施する等、計画のとおり実施した。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、利用者へのサービス向上のため、きめ細やかな清掃の実施に努めてもらいたい。	○		
						樹林地や草地管理、樹木、芝生、草花などの植物管理業務等の実施方針	○重点的に、ゾーンごとのポテンシャルを最大限に活かす植物管理を行うこととし、「ゾーン別植物管理計画の策定」「サクラやツツジの咲き誇る景観づくり」「危険木の早期発見と処理による安全な樹木管理」「シンボルツリーのマメサクラの健全な管理」「ボランティアや専門家と協働した山野草の保護と利用者へのPR」「野鳥の水遊び場の創出」「かながわブランド「足柄茶」を育て活かす茶園管理」を行う。 ○また、山地特有の管理として、「ヤマビル・ダニ被害への対策」「ナラ枯れの拡大防止対策」「発生材の有効活用によるゼロエミッションの実践」に取組む。	○樹木医調査を実施した。 ○園内すべてのサクラを対象に天狗巣病の枝切を実施した。 ○樹木医の指導により、刈草を活用した保水処理対策を実施した。 ○東側の眺望阻害木の伐採を実施した。 ○プランターの増設やハンギングバスケットの設置を実施した。 ○シヤガ群生地の除草を実施した。 ○自然散策路の除草やナラ枯れの調査・対応を実施した。 ○樹木医の調査・指導、外来種の除草の徹底を実施した。 ○自然散策路等の危険木の伐採を実施した。 ○剪定木・刈草等による土壌保全を実施した。 ○樹木板等の増設を実施した。 ○臨時駐車場接続道路の清掃を実施した。 ○ナラ枯れ危険木の伐採・除去を実施した。 ○落葉の堆肥化を試験的に実施した。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、専門家に意見を取り入れる等の取組の実施を期待する。	○		

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)		
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他
I サービスの向上	(3)	利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	10	9	公園の特性や利用状況(繁忙期・閑散期等)、新しい生活様式などの社会状況に応じて、多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、内容等（有料施設は除く）	○「日常利用における利便性や魅力の向上」として、アクセス等の向上などのほか、安全・安心な利用環境の確保や植物管理による見どころづくりに取組む。 ○「誰もが参加しやすい利用促進プログラムづくり」として、2年目から「つぶらの公園まつり」の開催などのほか、雄大な眺望を活かしたプログラムの企画・実施や地域主催プログラムとの連携などに取組む。 ○繁忙期・閑散期に応じた対策として、駐車場混雑状況のSNSによるリアルタイムな発信、学校教育機関や企業のCSR活動などの利用促進に取組む。 ○新しい生活様式への対応として、「未病いやしの里の駅」として、森林セラピーコースや散策コースの設定などに取組む。	○案内板の設置に向けた調整を実施した。 ○臨時駐車場を開設した。 ○臨時駐車場の接続道路の清掃を実施した。 ○写真展や歴史解説講座を開催した。 ○音楽イベントでNPO法人共和のもりが楽器作りを実施した。 ○山北町のセラピー協議会と連携し、森林セラピーを実施した。【再掲】 ○ダイヤモンド富士を見てみよう等、公園の特性を活かした様々なイベントを開催し、公園利用の促進を積極的に実施した。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、利用者サービスの向上のため、多様なイベント開催を期待する。	○		
					有料施設における利用者増及びサービス向上に資する事業の実施方針、内容	○安全対策や環境への配慮などを重視し、通年、自動販売機を設置する。	○利用者の利便性向上のため、清涼飲料水の自動販売機を2台設置した。	○概ね提案書の内容に沿って適切に実施されている。 ○清涼飲料水以外の自動販売機も設置にむけた調整を進めてもらいたい。	○		
					多くの利用を図るために行う広報・情報発信の工夫等	○「広報や情報発信を通じて本公園の認知度・集客の向上」を図るため、多様な媒体を活用した情報発信を行うほか、隣接する静岡県小山町や御殿場市への広報などを行う。 ○地域の情報発信拠点化に向けた、地域ネットワークの形成、地域のインフォメーションとしてのパークセンター機能の発揮として、きめこまかな情報収集、発信をしていく。	○道の駅「やまきた」に、公園パンフレット配架の承諾を得た。 ○パークセンターで地域情報リーフレットの配架を行った。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、広報活動場所を広げる取組を行い、公園PRを積極的に実施されることを期待する。	○		
					公園の特性をより効果的に活かすために行う自主事業の内容等	○パークセンターでの物販、イベント時や繁忙時のケータリングサービス（森の中のカフェを演出）、望遠鏡の設置を行う。	○フォトコンテスト入賞作品カレンダーの販売を実施した。 ○3か所に望遠鏡を設置した。 ○イベント時のケータリングサービスを計画したが、雨天により実施できなかった。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。ケータリングサービスについては、今後の実施を期待したい。	○		
					利用料金の設定、減免の考え方（有料施設がある場合のみ）	○自動販売機の料金設定は、近隣施設の料金を考慮し相応の料金を設定する。	○大規模災害発生時には飲料を無償提供する。	○災害ベンダーの導入等、提案書の内容に沿って適切に実施されている。	○		
	5	4	接客や利用者との対話、公園利用ルールの利用者への助言、指導等の考え方	○子どもから高齢者、障がい者、外国人等、誰もが安心・安全・快適に公園を利用していただけよう、スタッフ全員が、利用者との双方向コミュニケーションを重視したホスピタリティ溢れる接客をする。	○計画のとおり実施した。 ○利用案内の手引きやおもてなしバッグの携帯を実施した。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、誰もが安心・安全な公園利用の提供を目指した接客を心がけてほしい。	○				
			サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の事業等への反映の仕組み等	○公園を利用されている利用者のみならず、これから公園を利用する可能性のある潜在的利用者を含め、「①ニーズや苦情を的確に把握」「②分析」のうえ、「③運営を改善」することで、「④利用者満足度の向上、新規利用者の獲得」を図る。	○アンケート等により利用者のニーズを把握し、県と改善の調整した上で公園運営に反映させる取組を実施した。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、利用者の声を公園運営に反映させ、サービス向上に努めてもらいたい。	○				
			外国人、障がい者、高齢者等誰もが円滑に施設利用するための、コミュニケーションにおける工夫及び必要に応じた支援の方針	○外国の方への多言語での対応に努めるほか、「ともに生きる社会かながわ憲章」の主旨を踏まえ、障がい者への合理的配慮、高齢者への配慮、子育て世代が安全・快適に利用できる環境を整え、ユニバーサルな対応を推進する。	○ピクトグラムの案内板を設置し、翻訳機を購入した。 ○コミュニケーションボードを設置した。 ○認知症サポーター養成講座を受講した。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、外国人や障がい者に配慮する取組の実施を期待する。	○				
			神奈川県手話言語条例への対応	○コミュニケーションボードの活用や筆談や大きな声で対応する用意ができていないことを示す「耳マーク」をパークセンターに掲示するほか、利用者への手話の普及啓発に取り組む。	○職員が手話講習会を受講した。 ○「耳マーク」をパークセンターの受付カウンターに掲示した。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、聴覚障がい者への対応の継続が望まれる。	○				
	(4)	事故防止等安全管理	10	8	指定管理業務を行う際の公園の特性を踏まえた事故防止等の取組内容	○日常の事故防止においては、想定されるリスクを事前に管理し、リスクの発生による損失を回避し、不利益を最小限におさえる「リスクマネジメント」の考え方を取り入れ、リスク抽出、分析・対策立案、実行、再評価により事故の未然防止を図る。	○緊急連絡体制を整備した。 ○各種会議の内容を網羅した管理調整会議を月1回実施した。 ○独自の施設点検パトロールを実施した。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、事故防止に備えた会議等の取組を実施し、安全管理に努めてほしい。	○		
					樹林地の過密化や巨木化等に起因する災害を未然に防止する点検等の考え方	○公園の過半を占める樹林地は、樹木の過密化や巨木化が進んでいることから、日常の巡視において、園路沿いや広場付近など、来園者の安全確保が重要な箇所を中心に、枯損木や枯れ枝の状況や病虫害の状況を確認し、必要に応じて、刈込や倒木等の処理などに努める。	○計画のとおり実施した。 ○倒木や枯枝が落下する可能性が高い樹林地ゾーンにおいて重点的なパトロールを実施した。 ○ナラ枯れについては、日々のパトロールにて状況を把握し、適切に報告し、緊急性の高い場合は伐木等を実施した。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、ナラ枯れ対策を適切に行い、利用者の安全確保に努めてほしい。	○		

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)		
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他
I サービスの向上	(4) 事故防止等安全管理	日常の事故防止、緊急時の対応	10	8	<p>事故・不祥事等の緊急事態が発生した場合や安全管理の妨げとなりうる事案を認知した際の対応方針（対応方針には、利用者に外国人や障がい者、高齢者が含まれていた場合を含む）</p>	<p>○事故・不祥事等の発生時には、人命を最優先として「クライシスマネジメント」の考え方を取り入れ、被害の最小化、二次被害防止、速やかな報告・情報共有、復旧等事後対応、再発防止対策まで確実な業務フローにより対応する。</p>	<p>○事故・不祥事は起こっていない。 ○適宜、園長により公園職員に対して、業務フローの確認や安全教育を実施した。</p>	<p>○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、緊急事態が発生した際の対応の確認の実施が望まれる。</p>	○		
					<p>急病人等が生じた場合の対応 救急救命士等の配置、救命に関する職員研修等</p>	<p>○園内で急病人やけが人が生じた場合には、「安全管理マニュアル」に従い迅速に対応する。職員が病人の状況を把握した上で、病院や消防に連絡するほか、必要に応じて心肺蘇生やAEDの利用などの応急措置を施す。</p>	<p>○職員が普通・上級救命講習を受講した。 ○幼児安全法支援員の資格を取得した。 ○防災訓練を実施した。</p>	<p>○概ね提案書の内容に沿って適切に実施されている。 ○松田警察署山岳救助隊と連携した救助訓練についても、実施にむけた調整を進めてもらいたい。</p>	○		
					<p>新型コロナウイルス等の感染症に対する対応方針</p>	<p>○新型コロナウイルスへの対応については、「施設の管理・運営における対策徹底による利用者の感染防止」はもとより「利用者や周辺住民の理解促進」「職員の感染防止」を感染防止対策の柱として、感染防止の徹底を図りつつ、健康増進と憩いの場としての公園の管理運営を行う。</p>	<p>○ポスターの掲示など、県の通知に基づき実施した。</p>	<p>○提案書の内容に沿って適切に実施されている。</p>	○		
	(4) 災害への対応（事前、発生時）	5	4	<p>異常気象（大雨、台風、熱中症アラート等）への対応方針（事前、初動、発生時、応急復旧時）</p>	<p>○大雨や洪水、台風などの風水害に対しては、事前の備え、初動から発生時、解除後の応急復旧・報告の各段階をタイムラインに沿って、迅速かつ適切に対応する。</p>	<p>○計画のとおり実施した。 ○ゲリラ豪雨や熱中症警戒アラートへの対応として、利用者への注意喚起等を実施した。</p>	<p>○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、発生時の対応に備えてもらいたい。</p>	○			
				<p>公園の「震災時対応の考え方」に示す初動体制等への対応</p>	<p>○地震発生時には県が示す「震災時対応の考え方」やグループ代表が整理したタイムライン等に沿って、迅速かつ確実な対応を行う。勤務時間外の参集にあたっては、本公園勤務の有無に関わらず、グループ構成団体の公園近くに居住する職員が参集することで、発生後30分以内を目標に、参集したスタッフによる初動体制を図る。</p>	<p>○実際の災害はなかったが、震災訓練を実施し、体制の確認を行った。</p>	<p>○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、訓練を実施することが望まれる。</p>	○			
				<p>大規模災害発生時の公園の特性、立地状況等に応じた災害対応の考え方（地域との連携、防災訓練、災害発生時の協力等）</p>	<p>○急勾配の樹林地での土砂災害発生の可能性が高く、遠隔地からの利用者が多いため、帰宅困難者の発生が予想されるため、工期避難場所へのスムーズな避難に努めるほか、ヘリポートに位置付けられている駐車場の適切な運用について、地域団体と研究する。</p>	<p>○地域と連携した防災訓練の調整を実施した。 ○地域防災訓練への参加調整を実施した。 ○土牛震災災害訓練に参加した。</p>	<p>○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、地震時の訓練を実施することが望まれる。</p>	○			
	(5) 地域と連携した魅力ある施設づくり	5	4	<p>多様な主体（地域人材、自治会、関係機関）との連携、協力体制の構築等の取組内容</p>	<p>○多様な主体とのネットワーク形成に向けた基盤づくりとして、令和4～5年度に協力体制の構築、協働事業の実施などを行い、令和6年度に効果測定や連携先の拡充、令和7～8年度に公園運営協議会塔の発足に取組む。</p>	<p>○NPO法人共和のもりと、資源循環型維持管理、利用促進、地域活性化等で連携した。 ○町と共催で森林セラピーを実施した。【再掲】 ○西丹沢ビジターセンター、桑野ビジターセンターとの共催イベント（健康ウォーキング）で安全登山、自然保護の普及啓発を実施した。 ○地域のサークルやグループの受入体制の整備を実施した。</p>	<p>○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、町やビジターセンター等と連携強化に努め、多様な主体とのネットワーク形成に向けた基盤づくりを期待する。</p>	○			
				<p>ボランティア団体等の育成・連携、協働の取組内容</p>	<p>○初年度からボランティアを積極的に募集するとともに、活動が根付くよう支援を行うなど、将来に向けた活動の基盤づくりに取組む。</p>	<p>○受入体制の整備、ポスター等の掲示による募集を実施したが、残念ながら集まらなかった。</p>	<p>○提案書の内容に沿って適切に実施されている。今後は、より積極的な募集を継続してもらいたい。</p>	○			
				<p>周辺施設（他の公園・施設等）との交流・連携の内容</p>	<p>○「河村城址歴史公園」と連携したのろしあげイベントの実施。「共和のもりセンター」「元大野山乳牛育成牧場 まきば館」「薫る野放場」と連携した情報発信などを行うほか、農産物直売加工所との連携により、商品確保などにより利用者サービスの向上やフードロス削減に取組む。</p>	<p>○「河村城址歴史公園」と連携したのろしあげイベントやパネル展の開催にむけ、河村城址のろしあげ実行委員会と調整した。</p>	<p>○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、関係機関と調整し、イベント開催へつなげてほしい。</p>	○			
				<p>地元企業への業務委託等による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組内容</p>	<p>○業務委託を行う場合には、今後も地域企業等への発注を優先的に行っていくとともに、地域雇用の確保、社会的ニーズへの対応といった観点から、シルバー人材センターやNPO法人、県建設業協会等の地元非営利団体への業務委託を継続的に行い、地域連携を図っていく。</p>	<p>○計画のとおり実施した。 ○地域企業のほか、NPO法人への業務委託も継続的に行い、地域雇用に支援した。</p>	<p>○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、地域雇用の確保に貢献し、地域連携を図ることが望まれる。</p>	○			

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)			
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他	
Ⅲ 団体の 業務遂行能力	(6)	コンプライアンス、社会貢献	コンプライアンス、社会貢献	5	4	指定管理業務を実施するために必要な団体等の企業倫理・諸規程の整備、施設設備の維持管理に関する法規や労働関係法規などの法令遵守の徹底に向けた取組の状況（労働条件審査の実施予定など施設職員に係る労働条件の確認の有無を含む）	○諸規定類を整備し、法令遵守の徹底に取り組むとともに、施設設備の維持管理に関する法規についても、研修や講習会の受講、資格取得等を通じて理解を深め、安全な公園管理運営を図る。 ○労働基準法等の労働関係法規に基づき、就業に関する規程を整備しており、これらを適切に運用し安全で快適な労働環境を確保する。	○計画のとおり、諸規定の整備と運用を実施した。 ○各設備に関係する法定点検等の内容などについて、研修や講習会の受講、資格取得等を通じて理解を深めた。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。	○		
						指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況	○SDGs では、経済、社会、環境の三側面の調和が重要とされており、この認識も踏まえて環境分野の目標達成に向けて取り組む。	○環境負荷軽減の目標達成に向けた取組、独自の環境マネジメントシステムによる実効性の担保、自然環境の保全に配慮した管理運営と環境教育の取組を計画のとおり実施した。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。	○		
						法定雇用率の達成状況等、障害者雇用促進の考え方と実績	○障害者雇用状況については、神奈川県公園協会は法定雇用率を達成している。 ○障害者雇用促進に向け、障がいの就労支援のため、地元社会福祉法人への委託、障がいの職業能力開発校実習生の職場体験の受入れなどのほか、障がいの者雇用を行う企業等への積極的な業務発注を推進するため、実績等を協会ホームページで公表している。	○計画のとおり実施した。 ○障がいの者就労の機会の提供や障がいの者雇用を行う企業等への積極的な発注を行った。	○提案書の内容のとおり適切に実施している。引き続き、法定雇用率の達成にむけて、適切な対応に努めてもらいたい。	○		
						障害者差別解消法に基づく合理的配慮など、「ともに生きる社会かながわ憲章」の主旨を踏まえた取組	○障害者差別解消法及び「ともに生きる社会かながわ憲章」の制定主旨を踏まえ、合理的配慮の提供や広報啓発・研修等に取り組む。	○職員に対する研修、公園利用者等への普及啓発を計画のとおり実施した。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、研修等を実施し、障がいの者に対する合理的配慮の考えを深めてほしい。	○		
						神奈川県手話言語条例への対応	○聴覚障がいの者の安心安全な公園の利用環境を確保するために、意思疎通、情報取得のための重要な手段である手話を使いやすい環境づくりに努める。	○手話普及責任者等による指導、職員への教育・研修、利用環境の向上を計画のとおり実施した。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、聴覚障がいの者が安心して利用できるような取組の継続が望まれる。	○		
	(7)	事故・不祥事への対応、個人情報保護	事故・不祥事への対応、個人情報保護	5	4	社会貢献活動等、CSRの考え方と実績、SDGs（持続可能な開発目標）への取組	○本公園では、主に、「災害時の公園のポテンシャルの向上」「再生可能エネルギーの積極的な活用」「誰もが安全安心に楽しめる公園管理」「防災機能の確保」「生物多様性に配慮した維持管理」「環境教育の推進」「資源循環型の維持管理」「森林を活かした健康プログラムの提供」「地域連携の強化」「地域の情報発信による活性化」に取り組む。	○職員の意識醸成、利用者や県民への普及、公園での取組を計画のとおり実施した。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、職員の意識醸成への取組	○		
						募集開始の日から起算して過去3年間の重大な事故または不祥事の有無ならびに重大な事故等があった場合の対応状況及び再発防止策構築状況	○過去3年間の重大な事故・不祥事はない。	○当該年度に重大な事故・不祥事はなく、適切に業務を遂行している。	○提案内容のとおり適切に運営している。引き続き、重大な事故や不祥事を起こさないよう努めてもらいたい。	○		
						個人情報保護についての方針・体制、職員に対する教育・研修体制及び個人情報の取扱いの状況	○公園利用者からの信頼を得るためには、利用者等の個人情報適切に管理することが必要不可欠であるとの認識のもと、「個人情報保護方針」を公表し、諸規程の整備や職員に対する研修の実施により、個人情報の適正な保護に取り組む。	○個人情報保護のための組織体制、諸規定の整備を計画のとおり実施した。	○提案書の内容に沿って適切に実施されている。引き続き、個人情報の適正かつ確実な管理を継続していくことが望まれる。	○		

※「事業実績の確認方法(G)」欄のうちの「現地」の欄は、「指定期間 令和4年度の事業実績(E)」欄の実績を現地で確認したことを示すもの。

選定基準別提案内容と事業実績の確認
(施設写真)

施設名	山北つぶらの公園
指定管理者名	公益財団法人 神奈川県公園協会
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課（県西土木事務所）

※施設の概要が分かる写真を3～4枚程度掲載

	
中央広場(パークセンター周辺)	つつじ山展望広場(ブランコ)
	
里の広場(マメザクラ)	つぶらの森の音楽会